

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 企業の概要

社名	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	都道府県	東京都
業種	保険業	従業員数	25,822名
事業概要	損害保険事業		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定
テレワーク担当部署	人事部 企画グループ
テレワーク対象者	全従業員(パートタイム勤務者を除く)
実施者数	約11,500名(2016年4月～2017年8月)
実施日数	概ね週1～2回程度

## テレワークの導入・拡大の経緯

- ✓ 2012年度にテレワーク制度を導入。2014年度下期にテレワークの効果把握や課題の洗い出しを行うため本社部門においてトライアルを実施した。
- ✓ 利用者の声を受け、2015年度は執務場所・利用回数・対象者の範囲等、制度の柔軟性を高めた。具体的には、終日テレワークだけでなく一部テレワークの利用を可能とした。また、規程上、約26,000人の全ての従業員がテレワークを利用できる体制とした。
- ✓ 2016年度はさらなる生産性の向上を目指し、営業社員向けに外出先でのモバイルワークを可能とするスマートフォンを配備した。
- ✓ 2017年度には、本社ビル内に社内サテライトオフィス「SOMPOラウンジ」を設置し、時間や場所に捉われない働き方の実現に向けた環境づくりを進めている。

## テレワークの概要・特徴

### テレワーク制度の拡充

- ✓ 原則1か月に4回としていた利用回数の上限を撤廃。(2015年4月)
- ✓ 対象者をパートタイム勤務者を除く全従業員へ拡充。(2015年10月)
- ✓ テレワーク利用の多い職員の希望者を対象にシンクライアント端末を追加配備し、より取得しやすい環境を構築。(2015年12月)

### 育児・介護時短勤務者のテレワーク利用の支援策(会社端末の自宅配備)

- ✓ 育児・介護時短勤務者のテレワーク制度利用を後押しする取組みとして、希望者に対して、テレワーク時に自宅で使用するシンクライアント端末を追加配備している。これにより、家族の体調不良などの突発事象発生時にも自宅でのテレワーク勤務に切り替えられることも可能としている。

### 活用推進に向けた運用上の工夫

- ✓ 時間や場所に捉われない働き方の定着に向け、2017年7月に、本社ビル内にWi-Fi環境を整えた社内サテライトオフィス「SOMPOラウンジ」を設置した。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

### テレワーク利用者アンケート

- ✓ 2016年度に実施したテレワーク利用者を対象に行ったアンケートでは、利用者の約85%の従業員が「生産性が向上した」と回答した。
- ✓ また、テレワークを実施した部署においては、テレワーク利用にともない、業務の可視化が進み、職場のメンバーと今まで以上に情報共有が図られ、より組織として仕事を行う体制が整ったとの声もあがった。
- ✓ 普段と異なる環境に身を置くことで現状を打破するための戦略・企画を集中して考えることができるといった声もあがった。
- ✓ 業務に必要な知識を集中してインプットすることができるため、結果として生産性が向上する事例や移動時間の無駄が削減されることによって効率化が図られたといった効果も出ている。
- ✓ 育児や介護の事情により就業時間に制限のある従業員について、一部の業務をテレワークで実施するなど効率的に時間を使うことで生産性の向上を実現している効果も出ている。